

医療機関の災害安全対策 2014

テーマ： 大災害と感染症に対する医療機関インフラのあり方

2014年3月9日(日)午前9時15分～午後5時

東京大学伊藤国際学術研究センター地下2階ホール (定数 400名)
東京都文京区本郷 7-9-1

主催：国際医療リスクマネジメント学会 (IARMM)

共催：第12回日本予防医学リスクマネジメント学会 (JSRMPM)学術総会

プログラム

午前8時15分 入場開始

午前9時15分 開会

午前9時20分～午前10時10分 特別講演 「大規模災害に対する医療提供体制のあり方 (厚生労働省)
－医療班派遣・災害拠点病院・業務継続計画を中心に－」

長谷川 学 (厚生省医政局指導課長補佐)

(概要) 日本政府が近年策定した業務継続計画の概要を解説し、病院インフラとして拠点病院の事例を紹介する。

午前10時10分～午前10時20分 休憩

午前10時20分～午前11時 特別講演 「東日本大震災における災害医療の取り組み」

久志本 成樹 (東北大学病院救急医学講座教授)

(概要) 被災地の大学病院での救急医学部としての取り組みの事例を報告いただき、今後の検討課題に資する。

午前11時～午前11時10分 休憩

午前11時10分～午前12時 教育講演 「原子力災害に対する地域医療機関の備えのあり方」

前川 和彦 (財団法人原子力安全研究協会理事、東大名誉教授(救急医療)、つる虎の門病院院長)

午前12時～午後1時 昼食

(午前12時から12時30分：東日本震災被災者追悼のためのバイオリンライブ演奏
－濱田 明衣、オーストリアグラーツ音楽院)

午後1時～午後2時20分 シンポジウム 「大規模災害に対する病院インフラのあり方」

(概要) 大災害に対する医療機関の備えるべきインフラのあり方を討議する。なお、本プログラムは第12回日本予防医学リスクマネジメント学術総会の1部です。

座長：中尾 博之 (東大病院)

午後1時～午後1時40分 東日本大震災の経験を踏まえて

後藤 孝浩 (石巻赤十字病院事務部管財課課長)

午後1時40分～午後2時10分

東大病院災害医療マネジメント部の新しい活動

中尾 博之 (東大病院災害医療マネジメント部部长)

午後2時10分～午後2時30分 総合討論 20分

午後2時30分～午後2時40分 休憩

午後2時40分～午後5時 シンポジウム 「新型インフルエンザに対する医療機関の新たな備え」

司会：岩田敏 (慶應義塾大学医学部感染症学・感染制御センター教授、日本感染症学会理事長、JSRMPM 副理事長)

(概要) 新型インフルエンザの新たな世界的流行が危惧される折、2013年に日本では新型インフルエンザ等対策特別措置法が施行され、新型インフルエンザ等政府行動が求められています。それらを踏まえて、新型インフルエンザに対する医療機関の備えについて、専門家の先生方から解説していただき検討したいと思います。なお、本プログラムは第12回日本予防医学リスクマネジメント学術総会の1部です。

一人30分

新型インフルエンザ - 最近の動向と診察上の問題点および対策

菅谷憲夫 (けいゆう病院小児科)

新型インフルエンザ対策 - 地域における連携の在り方

賀来満夫 (東北大学病院感染制御・検査診断学分野教授)

アウトブレイクへの対応の実際

加来浩器 (防衛医学研究センター 感染症疫学対策研究官 教授)

新型インフルエンザ等特別措置法を踏まえた行動計画について

廣澤友也 (厚生労働省健康局新型インフルエンザ対策推進室)

総合討論 20分

午後5時 全体閉会